

1年 総合「ジオパークの魅力を観光客に発信しよう」

白山手取川ジオパークのGEO・ECO分野を課題探求することで新たな発見をし、ふるさとについて学び、誇りを持つ。

本学習の最終ゴールの一つ目は、観光客向けのパンフレット作成。本屋で売られているガイドブックや、インターネット上の情報には載っていないこれこそは！という魅力を発信すること。二つ目は、白嶺祭（学校祭）に向けてのパワーポイント作成。パンフレットでは触れていない、自分たちが感じた学びを、他の生徒や保護者に向けて発信すること。



① 図書館資料の活用

ジオパークの魅力発信に向けて、自分の課題をまず決めさせた。ふるさとの特産品、自然、施設などに目を向け、興味のある分野を絞り、そこから一つ一つじっくりと考えさせた。司書教諭にお願いし、ジオパークの資料を集めてもらい、それらを参考に考えさせた。

～生徒の感想～

図書館の本で資料を探することで、知らなかった知識が増えただけでなく、もっと知りたいな、調べたいなと思うことが出てきました。また、著作権にも気を付けるということも知れてよかったです。



「図書館活用」で工夫した点

- ・まずは、自分のテーマに沿った内容を探す
- ・複数の資料を見比べる
- ・自分なりに、文章を読んで疑問点を探しながら本を読む→その疑問を解決するために今後現地学習やインターネットも併用して課題解決に向かう。
- ・著作権を踏まえた上で資料を活用する。



② 資料を活用して

集めた資料からわかったこと、疑問に思ったことを活かして、まとめて近づけていく。調べ学習を進める中で、途中でわからなくなった場合は、原点に立ち返って、本をもう一度読むようにし、本をどんどん活用するようにした。

材料探しのポイント

- ・わかりやすい資料を集める
- ・写真を撮る
- ・インタビューをする
- ・アンケートを実施する

自分の思いをうつづける事実や数値（データ）があると、説得力アップ！

説得力のあるプレゼンにするために



～生徒の感想～

時間が経ってから、また資料を読み返すと、前には気づかなかったことがわかったり、忘れていたことも思い出せたりしてよかったです。インターネットや、会話の内容は、忘れてしまったり探すのに時間がかかるけど、本なら意外とすんなり探せたりするので、両方をうまく使うって大事だなと思いました。